られる。

秋田大学HIV理解・予防促進イベント「Love & Safety~ともに生き 支援活動の紹介 よう~」 10 代の学生やその家族、一般の方々を対象とし、HIV陽性者への理解促進とHIV /AIDSの予防啓発活動を行った。平成 22 年度秋田大学大学祭において、HIV/ AIDSに関する知識をまとめた常設展、子どもから大人まで楽しめるクイズラリー や手作りコーナー、専門家を交えたトークショーなどを行った。平成 22 年度 12 月に は、世界エイズデーに伴い、HIV理解・予防啓発に関する展示、パンフレット配布、 メッセージカード記入コーナーを設置し、広く学生に呼びかけた。 今年度の実績 ≪平成 22 年 10 月≫ 秋田大学HIV理解・予防促進イベント「Love & Safetv~ともに生き よう~」開催(2日) ・常設展(HIV/AIDSや、性に関する基礎知識) ・ラリー(HIV/AIDSに関する一般的な知識、本県の状況) ・上映コーナー(ミゾホとサトシ) DVD上映) ・トークショー(専門家を交えてのディスカッション) ・その他・・・合唱(小田和正「たしかなこと」)、休憩コーナー、総合案内 ≪平成 22 年 12 月≫ 世界エイズデーに伴い、HIV理解・予防啓発に関する展示(秋田大学学生ホール) ・他団体からのメッセージ ・サッカー選手のHIV/AIDS理解・予防啓発活動 ・メッセージカード記入ブース設置、及び展示 次年度の活動計画 ・平成23年4月~6月HIV予防啓発イベントの企画会議 ・平成23年7月~9月HIV予防啓発イベントの掲示物作成(近隣の高校に対するイ ベントの宣伝、案内イベント宣伝のためのポスター作製、大学近隣店舗への宣伝、ポ スター掲示依頼) ・平成 23 年 10 月~12 月(HIV予防啓発イベントの掲示物作成、イベントの会場設 計、イベント実施(2 日間)、事後の振り返りと次年度への申し送り、(12 月) 世界エ イズデーに合わせて、学生ホールにHIV予防啓発展示を行う) ・平成24年1月~3月(情報収集・スポンサー探し) 支援活動責任者 活動助成を頂くことができて、大変感謝している。上述のように、①知名度の高い企 からのコメント 業からのお墨付きを得たわけで、大学、高校、関連機関へのPRがやりやすくなった。 ②10 代向けのイベントであるので、若者主体が、最も効果的である。その点大学生・ 大学院生がアイディアを出し合いながらイベントを作り上げてくれたことはスタッフ 学生にとっても大きな意味がある。大学院生はこれまでのイベントに来場した者もお り、スタッフとなって今までと違うものを作りたいと努力していた。③来場者は若者

だけではなく、年配の方もおり、広く啓発できた。また性的マイノリティのNGOの 方も来てくださり評価してくださったことも、本イベントの有効性を示すものと考え